

「伝統と革命、政治思想の課題と挑戦」

한국·일본 정치사상학회 국제학술회의
전통과 혁명: 정치사상의 과제와 도전

主催：政治思想学会（日本）・韓国政治思想学会
協力：財団法人 日韓文化交流基金
財団法人 社会科学国際交流江草基金
問い合わせ：jptkmatsuda@ml.rikkyo.ne.jp

日時：2009年7月4日（土）・5日（日）
場所：立教大学池袋キャンパス 8号館 8101教室

7月4日（土）
13:00 登録開始
13:20 開会の辞 政治思想学会（日本）代表理事 米原謙（大阪大学）
13:30～15:30 セッション1
16:00～18:00 セッション2
7月5日（日）
9:30～11:30 セッション3
13:00～15:00 セッション4
15:20～17:20 セッション5
17:30～18:30 セッション6（総合討論）
18:30 閉会の辞 韓国政治思想学会会長 徐炳勳（崇実大学）

1. 近代化の中の儒教

司会者：吉岡知哉（立教大学）
発表者：金英敏（ソウル大学）「東洋政治思想史の解釈学：李承晩の立憲君主制論に対する解釈の地平」
金永壽（嶺南大学）「朝鮮建国と性理学の企画」
河野有理（首都大学東京）「『文明開化』か、「文明」と「開化」か？——『明六雑誌』の思想課題——」
討論者：高熙卓（延世大学）、松田宏一郎（立教大学）

2. 抵抗者から見た東アジアの伝統と革命

司会者：金周晟（韓国教員大学）
発表者：崔亨翼（韓神大学）「洪命喜の『林巨正』に表われた伝統と革命」
與那覇潤（愛知県立大学）「ふたつの「革命」のはざままで——沖縄から見た辛亥革命と大正政変」
討論者：朴義卿（全南大学）、李曉東（島根県立大学）

3. 西洋における伝統と理念の東アジアにとっての理論的触発力

司会者：金飛煥（成均館大学）
発表者：郭峻赫（高麗大学）「熱望の政治？——古典的共和主義における伝統と変革」
犬塚元（群馬大学）「歴史/歴史叙述のなかの伝統と革命」
討論者：徐炳勳（崇実大学）、吉岡知哉（立教大学）

4. 20世紀の革命と全体主義

司会者：菊池理夫（三重中京大学）
発表者：洪元杓（韓国外国語大学）「ハンナ・アレントの政治思想における伝統と革命」
亀嶋庸一（成蹊大学）「マックス・ウェーバーにおける〈合理化〉と20世紀の政治」

討論者：金飛煥（成均館大学）、川崎修（立教大学）

5. 中国・韓国そして東アジアにおける「革命」の再定義

司会者：徐炳勳（崇実大学）

発表者：李曉東（島根県立大学）「中国近代知識人における伝統と革命」

金周晟（韓国教員大学）「脱亜脱欧の翻訳された世界」

討論者：朴義卿（全南大学）、川崎修（立教大学）

6. 総合討論（全発表者、ディスカッサントおよびフロアによる）司会者：松田宏一郎（立教大学）